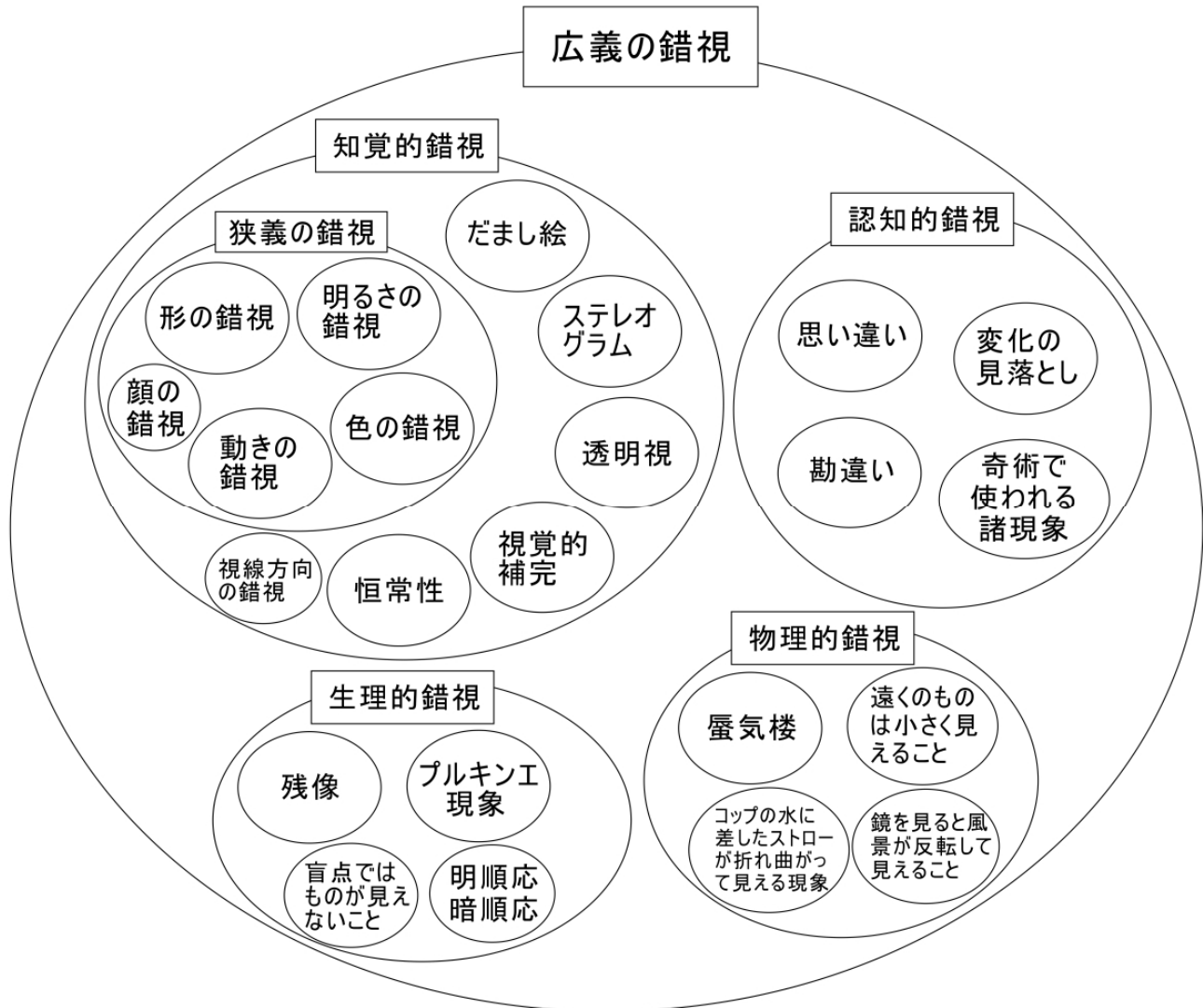


錯視・錯覚のオーバービュー

立命館大学文学部 北岡明佳

錯視・錯覚は、知覚心理学の伝統的研究領域としての錯視という狭い範囲から、だまし絵や高次の錯覚、あるいは物理的・生理的錯覚現象も包含する広い概念である（下図）。本講演では、錯視・錯覚のオーバービュー（概観）をすることによって、そのカテゴリーの本質を考察したい。



左図…右を見ているようにも左を見ているようにも見える図。反転図形という意味では、本講演ではだまし絵の一種として分類する。虹彩における瞳孔の位置（人物にとって右を見ているという知覚を誘導する）と目の枠の中における虹彩の位置（左を見ているという知覚を誘導する）それぞれが視線を決定するということは視線方向の錯視ということになるが、本講演では知覚的錯視であるが狭義の錯視の外側にあるものとしてこれらを位置づける。